

三月例会御案内 (平成二十九年・通算第三六二回)

時代を刷新する会

○御案内

三月十三日(月)正午～午後二時半 衆議院第一議員会館 地下一階・第五会議室

講師 米中もし戦わば!

講師 飯田将史防衛省防衛研究所主任研究官

◎ さて、ここ十年、中国の軍事費・軍事力の増強は目覚ましく、核弾頭付ミサイルの整備向上を初め、ステルス戦闘機の開発、原子力潜水艦の量産配備、空母「遼寧」の改装就航などに、自信を深めたせいも、南シナ海の珊瑚礁を埋立て、軍事基地化を着々と進めております。それに對して、アメリカのトランプ新政権は、中東のイスラム過激派の制圧や南シナ海問題の増強政策に転じました。

そうした趨勢の中で、米中間は、南シナ海現地の接触情況次第で、一触即発、戦闘状態に入る危険があり、日本もその場合の対処を考えておく必要があります。そこで、今回は、あくまで、仮定の場合ですが、「米中もし戦わば!」とのテーマで、防衛研究所主任研究官・飯田将史先生に御講話をいただきます。奮っての御参加、お待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 ※三月十日(金)までに欠の御連絡賜りたく

時代を刷新する会 当日連絡先

080-8836-6203 重田
080-9292-2620 高津

二月十三日(月)の月例会に

(通話のみ)

<http://www.jidaisassin.jp>

出席 欠席 (いずれかに○印を)

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX
メール

○御報告

去る二月十七日の月例会は、『日本人に合う健康長寿の食生活とは?』と題して、奥田昌子医学博士に御講話いただきました。それはいま、世界有数の高齢社会となった日本では、テレビ・新聞・雑誌に、健康食品や健康法のノウハウ広告が溢れ、国民はどれももともと思われ、あれもこれもと迷っているのが現状です。これに對して、長年の臨床実験、産業医検診の蓄積、海外のデータの収集により、奥田先生は、人間の体質は人種・民族・長年の生活環境により異なることを論証され、したがって、海外の食生活を取り入れても、むしろ害がある、と主張されていきます。

この日も、奥田先生は、いま世間でよく言われている次の三例、①骨を強くするため牛乳や乳製品を摂るといい、②認知症の予防には、血管を強くするため肉を食べるといい、③糖尿病の予防やダイエットには糖質制限が有効だ、の三例を挙げ、出席者一同に語りました。参加者からそれぞれに正解とする声が上がりましたが、奥田昌子医師の答えは、三例ともバツでした。そして、奥田先生は、島国育ちの日本人古来の体質について解説され、食生活もそれを基本とすべきである。アメリカでは、多民族構成国家なので、病気のときに、その人種・民族ごとに、診る医師が異なる、といった御説明もあり、大層、参考になりました。これで、テレビ・新聞・雑誌に氾濫する健康食品や健康法ノウハウに迷わさねないですむ、と安心できました。また、奥田先生は、参加者全員から個別的相談にも応じて下さり、一同、感謝の拍手で終わりました。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。

第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正十郎元財務大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。現在は、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・外務副大臣が就任しており、理事長は、平成十四年から半田晴久が就任しております。

▽事務局電話(03)3272-4320 専務理事兼事務局長・清原淳平、総務 重田、高津